仙台合同庁舎Ａ棟　免震化改修

～　免震化で、地震に強く生まれ変わります　～

【東北地方整備局　営繕部】

【事業概要】

防災拠点として必要な耐震性能が確保されるよう、免震化工法※による耐震補強を行う改修工事です。各官署が業務を続けられるように配慮しながら工事しています。

地下１階の柱の柱頭部分に免震装置を設けて建物を免震化し、あわせて受変電設備、自家発電設備、空気調和設備、換気設備、エレベーター設備などの各設備も改修し、防災機能を強化します。

※免震化工法

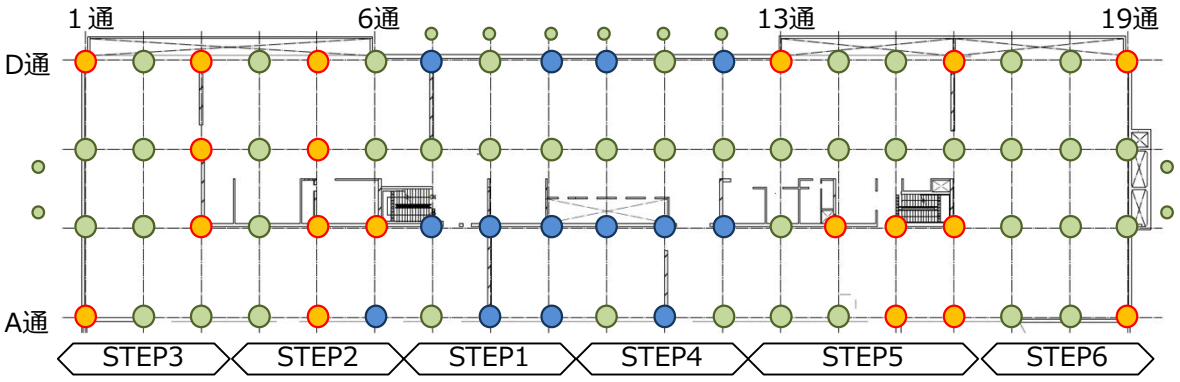
建物に免震装置を設けて地盤から伝わる揺れの勢いを減少させ、建物の破損などの被害を低減させる工法。



［庁舎北側外観］

【工事概要】

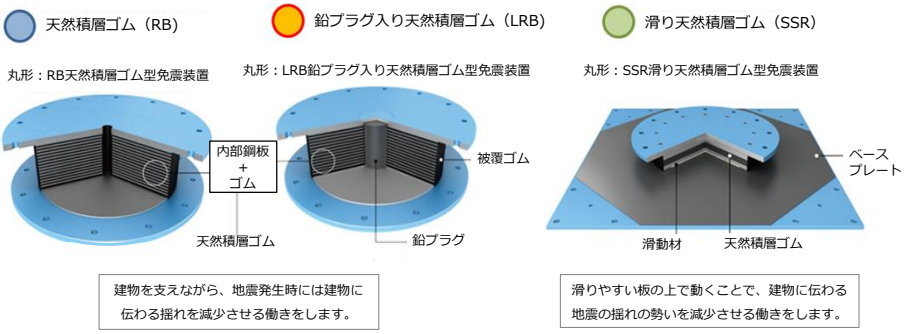
■６工区に分けて順番に、３種類の免震装置を配置しています

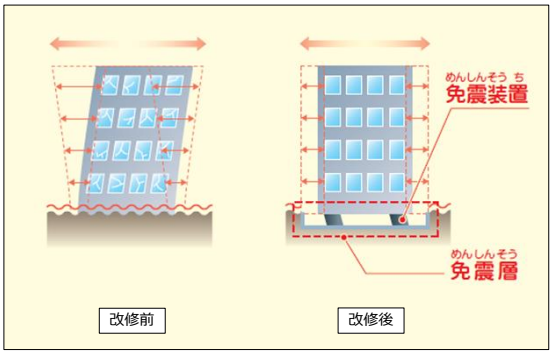


◆免震装置の役割

① 建物を支えながら、地震の揺れの勢いを減少させる

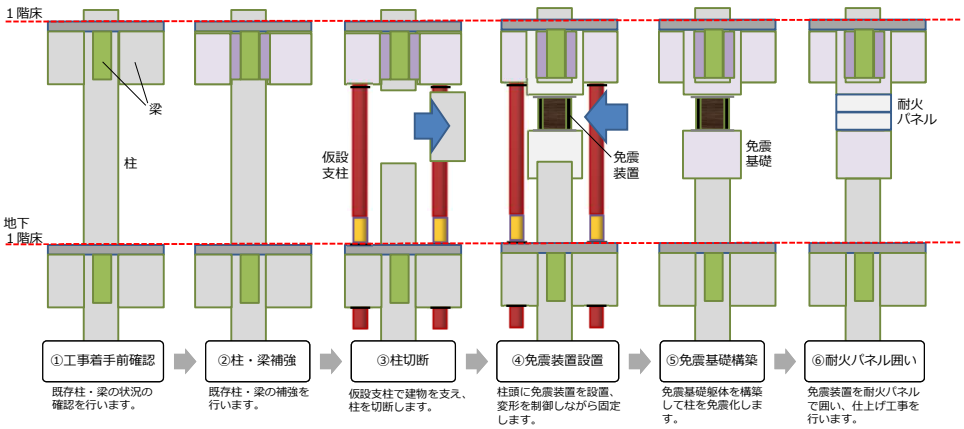
② 地震の揺れが収まったあと、建物を元の位置に戻す





［免震化改修のイメージ］

■免震化改修の作業の流れ



【施設概要】

構　　造：鉄骨鉄筋コンクリート造
　　地上９階、地下２階建て
延べ面積：27,735㎡
新築年度：昭和４０年度（築６０年）
完了予定：令和８年度
入居官署：仙台国税局
　　税務大学校仙台研修所
　　東北農政局
施 工 者：
　株式会社 竹中工務店 東北支店
　　（建　　築）
　東光電気工事 株式会社 東北支社
　　（電気設備）
　三建設備工業 株式会社
　　（機械設備）